

ELGOLAZO 号 外
特 別 版

EG the Football Journal

アジアを
獲得。

広島 の価値を 高めるために

INTERVIEW
川辺 駿

チケット
好評発売中

チケット情報はこちら



サンフレッチェ
広島



AFC CHAMPIONS LEAGUE ELITE™

LEAGUE STAGE MATCH DAY 6

2025.12.10 (Wed)

19:00 KICK OFF 広島サッカースタジアム



上海申花
(中国)

Hayao KAWABE



サンフレッチェ広島
MF 6 川辺 駿

AFCチャンピオンズリーグエリート(以下ACLエリート)でも奮闘を続ける広島。
12月10日には今季の公式戦最終戦でもある第6節・上海申花戦が行われる。
今回、話を聞いたのはアジアの舞台でも活躍が光る川辺駿。
ACLエリートの面白さややりがい、目標などを語ってもらった。

取材日:10月15日(水) 聞き手:寺田 弘幸



決勝そして世界へ。
それは夢のような
目標ではない

Jリーグとはぜんぜん違う。 そこが魅力

——川辺選手はいま戦っているACLエリートにどんな魅力を感じていますか。
「やっぱり、Jリーグとはぜんぜん違う。そこが一番ですね。日本人選手とは違った強度を感じますし、キーとなるポジションに力のある外国籍選手を入れてチームのレベルをうまく上げている印象です。ホームでの上海海港戦(第2節／1△1)はずっと試合を優勢に進めて1-0で勝っていましたが、相手の一発にやられてしまいました。そういう脅威もJリーグとはぜんぜん違います。あのカウンターのスピード感は、Jリーグではなかなか感じられないものでしたね」

——川辺選手は10代のころからAFCチャンピオンズリーグに出場してきましたね。
「たくさん出させてもらってきました。過密日程の中でメンバーを入れ替えながら戦っていたので、あのころはすごくいいアピールの場だと思っていました

ね。年代別の代表を含めて若いころはよくアジアで戦っていて、デカイ、強い、速い選手たちがいる中で自分に何ができるのかを見つけられたところもありました。Jリーグと違ってそこまで細かいので、スペースを与えてくれる部分もあり、僕はプレーしやすいなと思っていました」

——プレーしやすい面もあるんですね。
「ちょっとポジションをズラせばスペースを作れるし、長い距離を走ればフリーになれる。そういう緩さはあるんですけど、やっぱり攻守ともにゴール前では強い。そういうところがまた違って面白いですし、昨季のACL2(AFCチャンピオンズリーグ2)と今季のACLエリートを比べてもレベルは違いますね。点差がつくような相手はいないですし、いい選手が数人いるだけではなく、チーム全体のレベルが高いと感じます」

サポーター含めてみんなで戦う

——ACLエリートになると賞金額が一気に

上がるところも魅力です。

「賞金額が高い大会に出て結果を出していくことは、いまの時代にチームが強くなるためには欠かせないというか、すごく重要なポイントだと思います。もちろん、(ACL2に比べて)賞金額が上がったぶん、勝ち切る難しさも上がっていますが、エリートでファイナルズまでいけば、中東勢のクラブとやれる。さらに資金力があって名前のある選手たちがいるクラブと対戦できる可能性があるので、やりがいもすごく感じますね」

——昨季は川崎フロンターレが決勝まで勝ち上がりましたが、あのような舞台に立てることはクラブにとってすごく価値のあることだと思います。
「そうですね。そういった舞台でもJリーグのクラブはぜんぜんやれると思っていますし、僕らにもやれるだけの力があると思っているので、そこを目指したいですね。ああいう舞台にいければクラブの価値がすごく上がると思います。優勝すれば、世界につながっていきますし、さらにクラブの価値を高められま

す。それは決して夢のような目標ではないと思っています。もちろん、そこにいくためには一つひとつ勝っていないといけないですけど、目指していきたいですね」

——ACLエリートは本当に価値のある大会なので、たくさんのファン、サポーターの方々にスタジアムに駆けつけてもらいたいですね。
「やっぱり、ACLエリートの一番の違いはホームとアウェイの違いで、そこが最大の魅力だと思います。アウェイの雰囲気は難しいですし、相手の圧力もぜんぜん違います。中国の満員に近いスタジアムでプレーしたこともありますけど、あの試合はすごかったので、ホームでは僕らがそのアドバンテージをもって戦えたらと思います。平日のナイトゲームという難しさはありますが、本当にたくさんの人にきてもらいたいです。この大会で結果を出していくことは間違いなくクラブの価値を高めていくことにつながっていくので、みんなで戦っていければと思います」

川辺 駿(かわべ はやお)

1995年9月8日生まれ、30歳。広島県出身。180cm/72kg。広島JY→広島Y→広島→磐田→広島→グラスホッパー(スイス)→ウォルバーハンプトン(イングランド)→グラスホッパー→スタンダー・リエージュ(ベルギー)を経て、24年8月に広島に復帰。今季から青山敏弘氏の背番号6を受け継いだ。

REGULATIONS

～大会概要～

リーグステージEAST 順位表									
順位	チーム(国名)	勝点	勝	分	負	得	失	得失	
1	ヴィッセル神戸(日本)	12	4	0	1	10	4	6	
2	メルボルン・シティ(豪州)	9	3	0	2	6	5	1	
3	FC町田ゼルビア(日本)	8	2	2	1	7	4	3	
4	FCソウル(韓国)	8	2	2	1	7	4	3	
5	サンフレッチェ広島(日本)	8	2	2	1	5	3	2	
6	蔚山HD(韓国)	8	2	2	1	4	3	1	
7	ジョホールダルルタズム(マレーシア)	7	2	1	2	6	5	1	
8	ブリーラム・ユナイテッド(タイ)	7	2	1	2	5	6	-1	
9	江原FC(韓国)	6	2	0	3	7	9	-2	
10	成都蓉城(中国)	5	1	2	2	3	5	-2	
11	上海申花(中国)	4	1	1	3	5	8	-3	
12	上海海港(中国)	1	0	1	4	2	11	-9	

リーグステージ

24クラブが出場。2つのリーグ(西地区、東地区)に12クラブずつ分かれ、各リーグ内の異なる8クラブとホーム4試合、アウェイ4試合ずつ対戦する。各リーグの上位8クラブがノックアウトステージ(ラウンド16)へ進出する。

ノックアウトステージ

ラウンド16 ホーム&アウェイのノックアウト方式。リーグステージから進出した16クラブが、同じ地区のクラブと対戦する。
ファイナルス(準々決勝以降) サウジアラビアでセントラル開催。すべてノックアウト方式で行われる。準々決勝では、ラウンド16で勝利した8クラブが対戦。組み合わせはドロー(組み合わせ抽選会)により決定する。



マフrezらを擁する前回大会覇者のアル・アハリ・サウジも西地区で順調に勝点を積み重ねている

RESULTS & SCHEDULE

～今大会の歩み～

VS 	2025年9月16日(火) 第1節 AWAY メルボルン・シティ(オーストラリア) 2-0 【広島得点者】 マルコス、中島
VS 	2025年9月30日(火) 第2節 HOME 上海海港(中国) 1-1 【広島得点者】 荒木
VS 	2025年10月21日(火) 第3節 AWAY 蔚山HD(韓国) 0-1 【広島得点者】 -

VS 	2025年11月4日(火) 第4節 HOME 江原FC(韓国) 1-0 【広島得点者】 加藤
VS 	2025年11月25日(火) 第5節 AWAY 成都蓉城(中国) 1-1 【広島得点者】 加藤
2025年12月10日(水) 第6節 HOME 2026年2月10日(火) 第7節 HOME 2026年2月17日(火) 第8節 AWAY	上海申花(中国) ジョホールダルルタズム(マレーシア) FCソウル(韓国)



スキップ監督(写真)、ウマルコーチの広島ラストゲーム。有終の美を飾りたい



上海申花(中国)

Shanghai Shenhua

文・ピッチコミュニケーションズ Photos:©AFC ※情報は11月28日時点

現役中国代表や強力外国籍選手を擁す強豪

1951年に母体となる「華東隊」として設立し、1993年に現在の「上海申花」へ改称した中国の強豪。2004年にリニューアルした中国超級リーグでは優勝経験こそないが、中国FAカップでは4度の優勝を誇る。かつて本田圭佑を指導したことで知られるレオニード・スルツキー監督が昨季より就任し、中国スーパーカップで2連覇を達成。リーグ戦でもライバルの上海海港と2年連続で優勝争いを演じた。

各ポジションに中国代表選手を多数擁し、元ポルトガル年代別代表MFジョアン・カルロス・ティシェイラや元横浜FCのブラジル人FWサウロ・ミネイロ、今夏加入の赤道ギニア代表FWルイス・アスエなど強力な外国籍選手もそろそろ。これまで数多くのJクラブと対戦しているが、広島とは初顔合わせとなる。



KEY PLAYERS

DF 27 — 日本出身(ホンコン・チャイナ代表) 23歳

チャン シンイチ

日本人の母をもつ
不動の左サイドバック

東京都出身で日本人の母をもつホンコン・チャイナ代表の左サイドバック。正確なキックと対人の強さを武器に攻守で存在感を示す。今夏のE-1選手権では日本代表とも対戦。昨季のAFCチャンピオンズリーグエリート・ラウンド16の川崎フロンターレ戦では、日本人の祖母が等々力陸上競技場に駆けつけて話題を呼んだ。



Shinichi Chan

FW 11 — ブラジル出身 28歳

サウロ ミネイロ

かつて横浜FCでも活躍した
ブラジル人ストライカー

2021年の夏から2023年の夏まで横浜FCでプレーし、J1通算20試合出場4ゴール、J2通算19試合出場4ゴールを記録したブラジル人ストライカー。上海申花には今年1月に加入し、リーグ戦は負傷の影響もあり14試合の出場にとどまるも、8ゴール6アシストと活躍した。横浜FC時代のチームメートであるジャーマン良とはアジアの舞台で再会を果たす。



Saulo Mineiro